

“フルトライボ MH “一協同油脂”

耐熱・耐薬品性のフッ素グリース新発売

1. 高温下の軸受寿命を延長し、メンテナンスコスト低減
2. 炭化劣化が少なく長寿命のため、給脂が減少
3. 耐薬品性に優れ、ゴム・樹脂類に影響を与えない
4. 使用温度範囲：-30～250℃

荷姿:750g ジャバラ、1kg・4kg ポリ容器



「LOYAL物語」 3

彼女と再会したのは、わたしが
ティアックを退社しふるさとに
戻り、ひとりで起業して一年程が
経った頃でした。

当時、何処の町や村にも青年会
という組織があった。若者が中心
となって半被姿で神輿を担いだ
り、ダンスパーティーを開いて踊
ったりして青春を謳歌していた。

ある日会長の石井さんが来て
『タダヨシ、お前中学時代卓球や
っていたよな』

(石井会長は、この物語によく出
てくるタカツシヤンの実兄です)

『はい、やっていました』

『こんど石川町で連青の体育大
会があつて、それに卓球の種目も
あつからお前出てくれな』

『はい、分かりました』

『練習は、金曜日の夜七時から中
学校の体育館でやつからな』

『はい』と、応えたものも十
年以上もラケットは握つていな
いし、道具もあるかどうか分か
らなかった。

『再会』

◇ 母校の中学校に四歳下の妹が
入学し卓球部に入部した。そのた
め、高校の帰り時折体育館に寄つ
て妹達を教えるようになった。

当時は、二年生の子一人一年生
の妹たち二人しかいなかった。翌
年、一年生の女子が四人入部して
やつとチーム編成ができた。

お陰で、その年の中体連では地
区優勝することが出来、優勝旗と
共に街をパレードしたことを記
憶している。だが、彼女のことは
記憶と言う意識すらなかった。

体育館では、以前の通りバレー
を真ん中に隅のほうで卓球台を
挟んで二、三人が練習していた。
そのうちの一人に視線が行った。

『あれ、北郷じゃないか』

『あつ、先輩』

『いやあ、久しぶりだなあ。お前
も大会に行くの』

『はい、会長さんに頼まれて』

『そうか、十年ぶりだなあ。久し
ぶりに少し打とうか』

「あの鼻たらしがきれいになつ
たなあ」と、心で呟いていた。

☆ あとがき ☆



昨年の4月に新入社員の大平(左から3番目)が加わり、女性陣も5人(一人は産休、経理の佐藤は撮影時銀行まわり)に増えました。

お客様の数も3000社を突破、今期は売上も目標の3億円を突破することが出来るでしょう。これもひとえに、お客様はじめメーカーの温かなご支援とたゆまざる努力の積み重ねとっております。感謝、感謝です。